

H. 18. 8. 31 朝刊

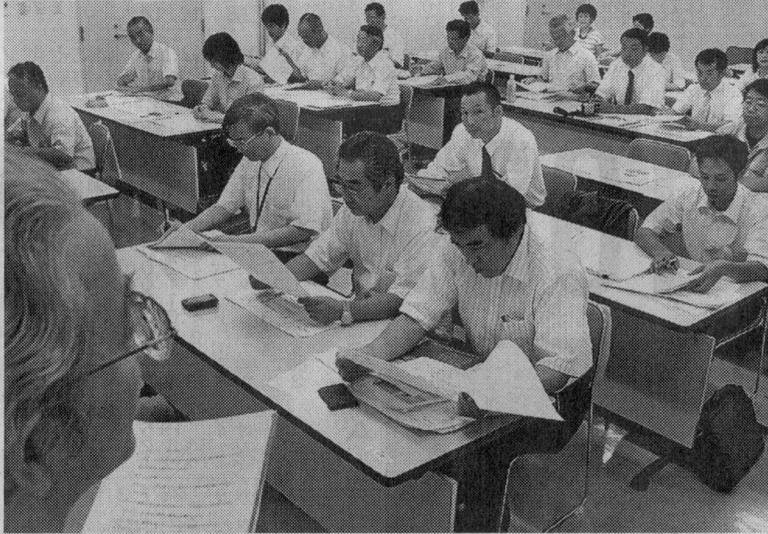
〈第三種郵便物認可〉

# 中小企業版エコ認証知って

## 県内審査機関が講演会

NPO法人「奈良環境カウンセラー協会」は、中小企業の環境対策促進のため環境省が創設した認証制度「エコアクション21」(E A 21)の県内初の審査機関となる「地域事務局なら」を設立。奈良市内で講演会を開き、参加した企業関係者らは、認証を受けるメリットなどについて知識を深めた。同制度は、国際認証基準「ISO14001」の中小企業版となるもので、同協会は県内企業の積極的な取り組みを期待している。

# 環境改善でコスト削減 優遇制度も



講演会で制度のメリットなどについて熱心に聞き入る企業関係者ら—奈良市内

た。このほど開いた講演会には、県内の企業や自治体から約60人が出席。地球環境戦略研究機関の竹内恒夫氏が「E A 21の意義と概要」と題して基調講演を行い、認証を受ける自治体の優遇制度や金融機関の低金利融資

の対象になり、環境改善の取り組み自体が光熱費などのコスト削減につながることを説明した。

県内企業などが認証を目指す場合、二酸化炭素や廃棄物の排出量など、必須項目を含む約270項目の中から取り組み可能な項目を選び出して計画化。3カ月以上取り組みんだ成果などを報告書にまとめ、「地域事務局なら」の審査を受ける。合格と判断されれば、事務局は地球環境戦略研究機関に報告、同機関で正式に認証が決まるしくみとなっている。

奈良環境カウンセラー協会の赤根晴雄理事長は「認証制度を通して、企業経営や従業員の意識も大きく変わる。ぜひ積極的に取り組んでほしい」と呼びかけている。

E A 21は、ISO14001の認証取得でネットワークとなっていたコスト面や担当者確保の負担を軽減し、中小企業での環境対策を取り組みやすくし

ようと、旧環境庁が平成8年に創設。統括認定機関の財団法人「地球環境戦略研究機関」(東京)で条件をクリアした中小企業などの認証を進めており、費用はISO14001の10分の1程度になる場合もあるという。「地域事務局なら」は、E A 21の県内の審査機関として6月に発足し